

泉北ニュータウンで地域中心のまちづくりを実践

講師紹介

日常生活圏である小規模地域（小学校区単位）の内外で住民が参画し協働の機会を得ながら、既存の事業の統合や分野を横断するまちづくりを支えます。マネジメントチーム構築や調査を中心に、ニュータウンでの住民自治モデル構築に取り組んでいます。地域を支える伝統的な事業の再構築から新たな生活支援のしくみづくりまで、あらゆる地域組織のパイプ役を担っています。

<p>中間 支援</p> <p>団地50%以上のエリアの 住民主体のエリアマネジメント</p>	<p>企業 協働</p> <p>企業と市民の エリアマネジメント</p>	<p>市民 参加</p> <p>市民の 食のコーディネート</p>	<p>プレイヤー</p> <p>学校と地域による エリアマネジメント</p>
---	--	---	--



丘の上の惣菜屋さんやまわけキッチン
大阪府住宅供給公社

大阪府住宅供給公社の団地再編プロジェクトのモデル地区。茶山台団地における暮らしやすさを高めるため、集会所を使った居場所づくりや惣菜屋さんを住民と起業し運営している



いずみがおか広場つながるDays
南海電気鉄道株式会社泉北事業部

乗降客数約5万人の泉ヶ丘駅前を中心とする事業者・市民によるエリアマネジメント組織の準備にむけたマーケットイベントを協働している



得意技を持つ市民
×
エリアマネジメント
(南海電気鉄道株式会社泉北事業部)

食を通じて新しいコミュニティを泉ヶ丘駅前に生み出すために、南海電鉄さんとNPOにて、泉北ニュータウンの魅力を発信する食堂を運営している。



まちの家事室
×
コミュニティ財団
公財泉北のまちと暮らしを考える財団

地域と大学と連携し、地域課題をコーディネーションする施設「まちの家事室」とし「泉北ラボ」を運営している。

こんなことが学べます ▶住民とともにスマートシティを進めるためのヒント

ニュータウンの社会課題は日本の縮図です。中でも、日本中がぶつかる壁「高齢化」。これからの泉北ニュータウンを考えるにあたって、泉北ニュータウンの現在地と、住民とともにスマートシティを進めるためのポイントを学びます。座談会では、泉北ニュータウンを考える上で必要となる、まちづくりの現場目線でのエビデンスに基づいた課題把握の視点を学べます

全国ニュータウン 高齢化率×18歳未満世帯割合散布図

